

=私たちの活動 4つの柱=
 *制度化と指導員の身分保障
 *専門性と仕事の確立
 *父母と共に学童保育運動の発展
 *全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2016. 10. 1.

NO. 5

全日本建設交運一般労働組合
 全国学童保育部会 発行
 編集：事務局

部会総会、

開催

処遇改善の予算化と賃上げ

9月17、18日、「建交労全国学童保育部会総会」が、中央本部会議室（新宿区）で開催されました。14支部27人が参加し、処遇改善の予算獲得と組織拡大を結合した取り組みを思い切っって進めていくことなど、1年間の方針を確認しました。

時代は変わった

事務局長からの情勢報告では、国が学童保育の基準、運営指針を作り、指導員の資格が創設されるなど情勢が大きく変わっていること、もはや地域の実情による実施や低賃金・

不安定雇用の指導員が当たり前前の時代ではないことが強調されました。

また、国の処遇改善事業を取らなければ、職員配置基準を確保することが困難であるとともに、賃上げの大きなチャンスが目の前にあり、是が非でも自治



分会の取り組みを報告する愛知の亀井さん。「専門性は、働き続けなければ積み上げられない」と強調。

体で予算化しようとして提案されました。特別報告では愛知支部名東分会の亀井さんより、処遇改善事業の内容について



各支部・分会で運動を具体化していくことを確認し、団結ガンバローで締めくくりました。

れ、自治体の状況、具体的取り組みなどを議論しました。

て学習会を開催し、それを契機に大幅賃上げと分会組織を4倍に増やした拡大の取り組みを力強く話されました。

自治体の壁を突破する

また、予算化している自治体でも、上限額を設けるなど、満額を組んでいない実態も明らかにされました。

分散会は、AグループII自治体で処遇改善事業が予算化されている自治体、BグループII予算化されていない自治体、の2つに分か

保育所から切れ目なく

国の大きな狙いは、

保育所から切れ目なく学童保育所に入れるように、箇所数を増やすとともに学童の開所時間を延長することにあります。

開所時間を延長するには、指導員が非常勤での対応は困難であろう、ということである。常勤化や待遇改善のための予算を付けたのです。こうしたことを自治体担当者へ訴え、子ども子育て支援計画が机上の数字合わせにとどめさせないようにすることが大切ではないでしょうか。

兵庫部会（姫路、明石）は、9月22日に処遇改善事業の学習会を開催しました。両支部より、約10人が参加し、3時間にわたり、制度・予算の仕組みを学びました。また、その場で姫路市内の指導員を1人拡大できました。

